

年間のゴールの姿

考えを関連付け、根拠や筋道を明確にして自分の考えを表現することができる。

1 授業づくり

(1) 現状と課題（R）

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
正答に必要な条件を満たし筋道を立てて書いて表現することが不十分である。	<p>[現状と要因]</p> <p>現状：根拠を示して自分の考えを話して伝える児童が増えている。 書くことへの抵抗感は少ないが、条件を満たして適切に書くことが不十分。 要因：「条件に合った数や式や言葉を用いて適切に書く場面」を意図的に設定することが不十分かつ「書く場面」の設定を他教科に広げられていない。</p> <p>[根拠となるデータ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベネッセテスト（R7 1月実施）応用問題（国語 65.6%, 算数 81.1%） ・R6 後期：活用力をはかる問題（59%）

(2) 計画と実行（P・D）

具体的取組	評価項目	評価
<p>(1) 具体物、式、図、資料、学習用語等を用いた説明や記述をさまざまな教科で行う。</p> <p>・叙述や資料や図などに書き込んだり、指し示したりした説明をさせる。 「証拠は？」「～と～の証拠からどんなことが考えられる？」 「その説明で伝わるかな？」</p> <p>(2) 解決に向けての見通しをもたせ、学習方法を選択する手立てを準備する。</p> <p>・学習形態(個、ペア、グループ等)・学習ツール(ノート、ワークシート、PC 等)を自己決定させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観シート「根拠や筋道を明確にして表現している。」 (70%) ・授業自己評価表「切り返し発問等、正答に必要な数や式、言葉を関連付けた表現をさせるための手立てが生かされている」 ※算数の適用問題（月2回、各学年の平均）で見取る。 (80%) ・活用力をはかる問題【5・7月】 (70%) ・学習ルールチェック 「みんなに聞こえる声で考えを伝える」 (90%) 	

(3) 検証と改善（C・A）

月	評価方法（誰が、いつ）	結果	取組の成果○・課題▲
4	<input type="checkbox"/> 授業評価表（学担：月末） <input type="checkbox"/> 学習ルールチェック（基盤：月末）	% %	
5	<input type="checkbox"/> 研究授業参観シート <input type="checkbox"/> 活用力をはかる問題（各学年：第4週） <input type="checkbox"/> 授業評価表（学担：月末） <input type="checkbox"/> 学習ルールチェック（基盤：月末）	% % % %	
6	<input type="checkbox"/> 研究授業参観シート <input type="checkbox"/> 授業評価表（学担：月末） <input type="checkbox"/> 学習ルールチェック（基盤：月末）	% % %	
7	<input type="checkbox"/> 公開授業参観シート <input type="checkbox"/> 活用力をはかる問題（各学年：第4週） <input type="checkbox"/> 授業評価表（学担：月末） <input type="checkbox"/> 学習ルールチェック（基盤：月末）	% % % %	
9	<input type="checkbox"/> 研究授業参観シート <input type="checkbox"/> 授業評価表（学担：月末） <input type="checkbox"/> 学習ルールチェック（基盤：月末）	% % %	

取組の成果○・課題▲

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
自分の考えや理由を最後まで話すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習集会（全校）、ペアトーク集会（高学年主体）を行い、話し方と聞き方のモデルを示す。 ・授業や集会など、一人ひとりが自分の意見を話す場の設定をする。 	